

4. 活動概要

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

- ・ 筑波大学研修留学生との交流
 - ・ タイでの地球未来会議への生徒派遣で環境・エネルギー問題を討論
 - ・ ACCU 主催の中国教職員の学校視察の際に、本校生徒との交流
 - ・ ジャパン・リターン・プログラム（JRP）主催の外交官日本語フォーラムへの参加
 - ・ 台湾の国立台中第一高級中学との研究文化交流を通じて国際理解教育
- 以上のプロジェクトを、国際交流担当として運営に当たった。（八宮）

高校1年の地理Aの授業の中で、国際理解・環境・気候変動・エネルギー・防災について扱った。国際理解においては、日本の領土問題について、調べ、発表する活動を通じてロシアや韓国・中国の主張と歴史的背景を理解した。我が国がかかわる領土問題においても、主観的にならず、冷静な視点を持って国際関係を築くべきであるということを理解した。

環境や気候変動は、エネルギー学習との関連で扱った。原子力発電や水俣病、アメリカの天然ガスの採掘にかかわる汚染を通じて、企業の利潤追求と環境との関係を掘り下げ、あるべき社会の姿を考察させた。

防災については、自然災害の種類や構造、被害、対策などを学び、過去の教訓を活かし、命を守る方法について学習した。（宮崎）

活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用 □ ユネスコクラブの活動として実施
- その他（夏季休業中、2学期末の数日を利用）

今年度の活動結果について（下記から選択して下さい。）

- 大変効果的な活動ができ、大変満足。 □ 効果的な活動ができ、満足。
- 効果的な活動ができず、やや不満が残る。

どのように活動を学校のプログラムに盛り込んだか記載願います。

・ 地球未来会議、台中一中との交流については5月から生徒募集をし、派遣生徒を決定した後は、それぞれのテーマに向けて、課外活動として研究させ、派遣期間である夏休みや、2学期末に合わせて、発表活動などの指導を実施した。また、帰国後は、一般生徒への還元を目的として「報告会」を行った。

・ それ以外のプロジェクトについては、その時期その時期に、有志の生徒を募

り、活動に当たった。(八宮)

- ・高1の地理Aの授業中に実施した。(宮崎)

今までの活動の中で、教育の質の向上に効果のあった活動がありましたら、記載願います。

- ・地球未来会議、台中一中途の交流ともに、参加生徒は海外の生徒からさまざまな刺激を受け、帰国後の授業においても、それまで以上に目的意識を持って取り組むようになった。
- ・JRP主催の外交官フォーラムでは、中学生を中心に日本語によってさまざまな質問を出し、有益な交流ができた。

活動の内容を補完する以下の資料があれば添付願います。

- 紙媒体の参考資料(新聞、出版物など) CD-ROM 写真
- その他(筑波大学国際教育委員会に提出した「H23活動報告書」)

以下につきましては、該当する取組を実施した場合のみ
記載をお願いします。

- 実施テーマにおける教材の工夫や授業手法における工夫。

生徒自身が調べることを通じて、学習内容の定着を図った。
また生徒自身の気付きにつながり、問題意識も高めることができた。

- 実施テーマに関連した研究旅行の実施。

水俣市へのフィールド・トリップを実施

- 他国の学校との交流や相互協力の実施。(交流した国、学校名の記載も願います。特に相手校がASPネットワークに参加している場合は、その旨も記載願います。)

- ・台湾の国立台中第一高級中学との研究文化交流

- 国連やユネスコが取り組む国際的な記念日、国際年、国際的な10年を記

念する取組の実施。(国際母語の日、国際天文年、識字の10年など)